

十九の春

本調子

合	合	乙	老	四	合	工	四	工	四	合	四	合	四	合	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

あなた	に	ほれた	のは	はる	で	し	た	
四、上	中	上	四	合	四	工	五	工

ちよう	う	ど	じゅう	く	の	はる	で	し	た
合	四	合	四	四、上	中	中	上	四、上	四

いま	さ	ら	りえ	ん	と				
合	四	上	四	工	五	五、七	五	工	合

ゆう	な	ら	ば	もと	の						
中、上	四	乙	合	乙	老	四	合	中	合	中	合

じゅう	く	に	して	お	く	れ						
上、中	工	合	工	中	上	四、上	四	合	工	四	工	四

一、わたしがあなたにに惚れたのは
 ちようど十九の春でした
 いまさら離縁と言うならば
 もとの十九にしておくれ

二、もとの十九にするならば
 庭の枯れ木を見てごらん
 枯れ木に花が咲いたなら
 十九にするのもやすけれど

三、見捨て心があるならば
 早くお知らせくださいね
 年も若くあるうちに
 思い残すな明日の花

四、一銭二銭の葉書さえ
 千里万里と旅をする
 同じコザ市に住みながら
 会えぬ我が身のせつなさよ

五、主さん主さんと呼んだとて
 主さんにや立派な方がある
 いくら主さんと呼んだとて
 一生忘れぬ片思い

六、奥山住まいのウグイスは
 梅の小枝で昼寝して
 春が来るよな夢を見て
 ホケキヨホケキヨと鳴いていた